

表紙の写真（小松かつ子 撮影）

***Paeonia lactiflora* P_{ALL.}** シャクヤク，芍薬，**paeonimetabolin I**

奈良県桜井市にて，栽培品種の「梵天」を撮影（Jun. 14, 1997）.

周皮を取り除いて調整した根を「芍薬」（生干芍薬，真芍薬，白芍）と称し，腹満，腹痛，頭痛，身体疼痛，下痢などに応用する．芍薬の有効成分の一つである paeoniflorin はヒト腸内細菌の酵素により paeonimetabolin I, II, III に代謝される．paeonimetabolin I には paeoniflorin より強い中枢性抗痙攣作用が認められている．

※ 1999年2月16日より，和漢薬研究所の英語表記名が以下の如く改訂されました。

Institute of Natural Medicine, Toyama Medical and Pharmaceutical University

（日本語表記は従来通りです。）